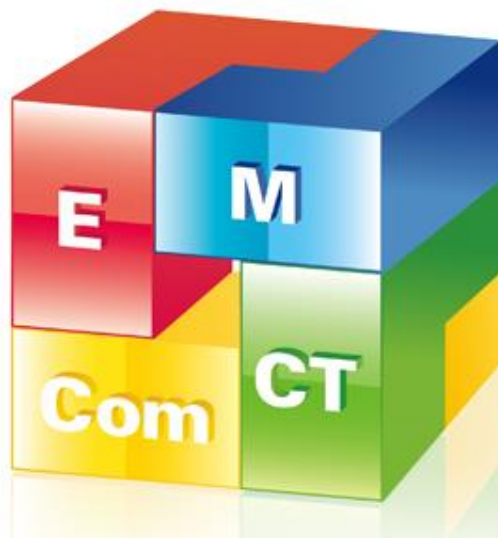


2018年3月期 第2四半期連結決算説明資料

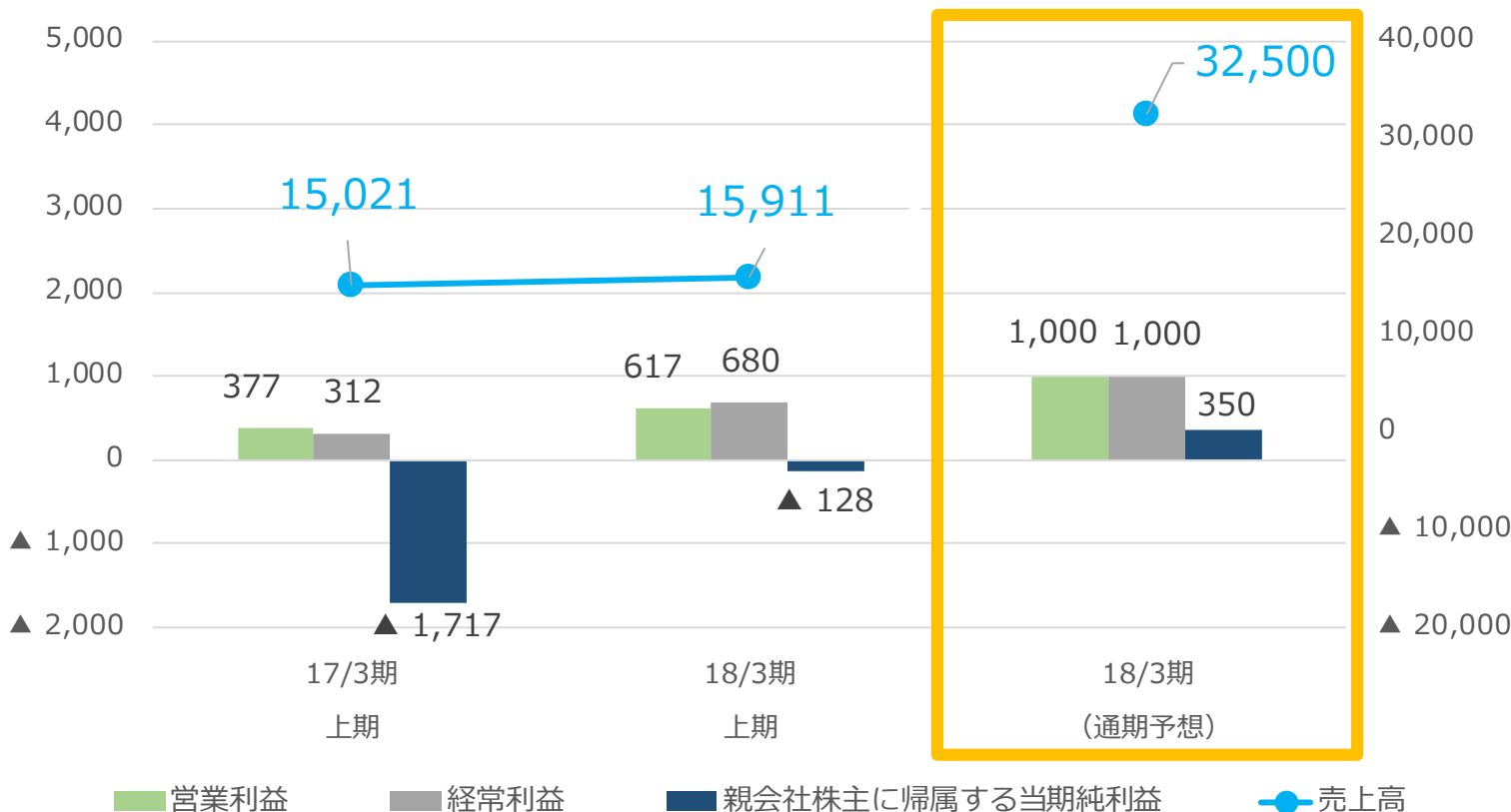
Our *T*echnologies *R*ealize *Y*our Dreams



2017年11月24日
オリジン電気株式会社

連結業績概要

(単位：百万円)



4つの
キーワード

海外売上高
比率強化

収益力強化

旧本社工場
跡地の活用

東邦化研工業
本社移転

- 18/3期 上期は主にエレクトロニクス事業及びコンポーネント事業が好調となり前期比で増収増益
- 18/3期 通期業績予想は5月12日発表の数値から変更なし

旧本社工場跡地の更地化 (2017.10.24)



東邦化研工業の新社屋 (2017.10.17)



連結業績



(単位：百万円)

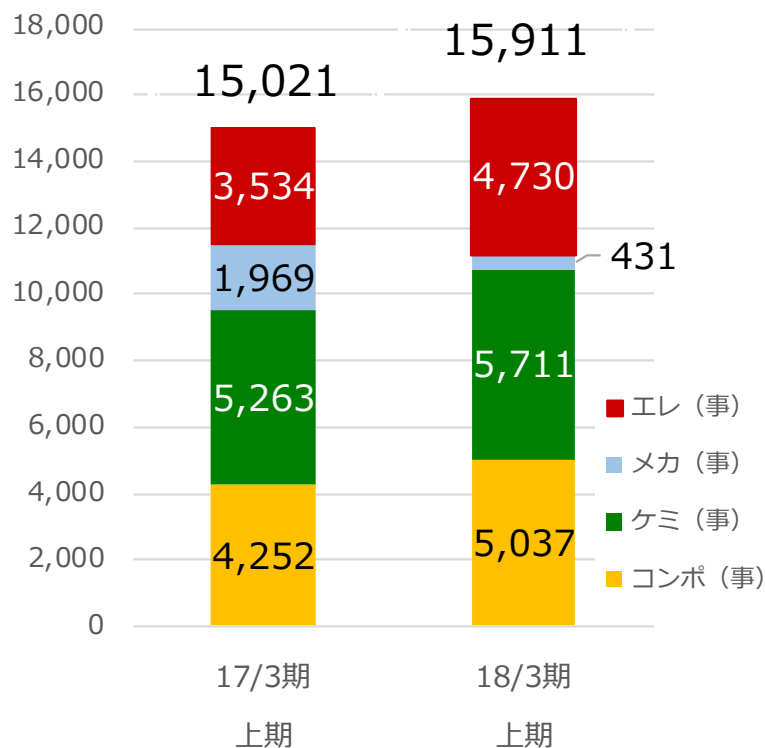
	17/3期 上期	18/3期 上期	前年同期 増減率
売上高	15,021	15,911	5.9%
営業利益	377	617	63.5%
経常利益	312	680	117.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 1,717	▲ 128	—
1株当たり四半期純利益	▲ 257.62	▲ 19.27	

- メカトロニクス事業部において、主力製品のMDBの売上減少に伴い、固定資産について帳簿価額を回収可能額まで減額し、267百万円の減損損失を特別損失に計上

連結売上高及びセグメント利益（全社費用配賦前）

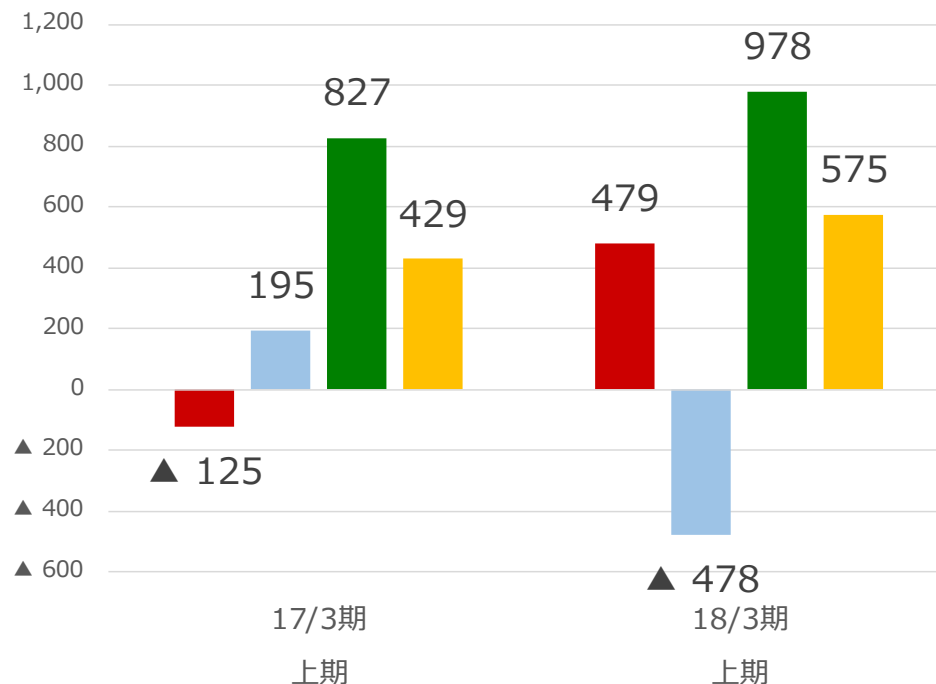
連結売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）

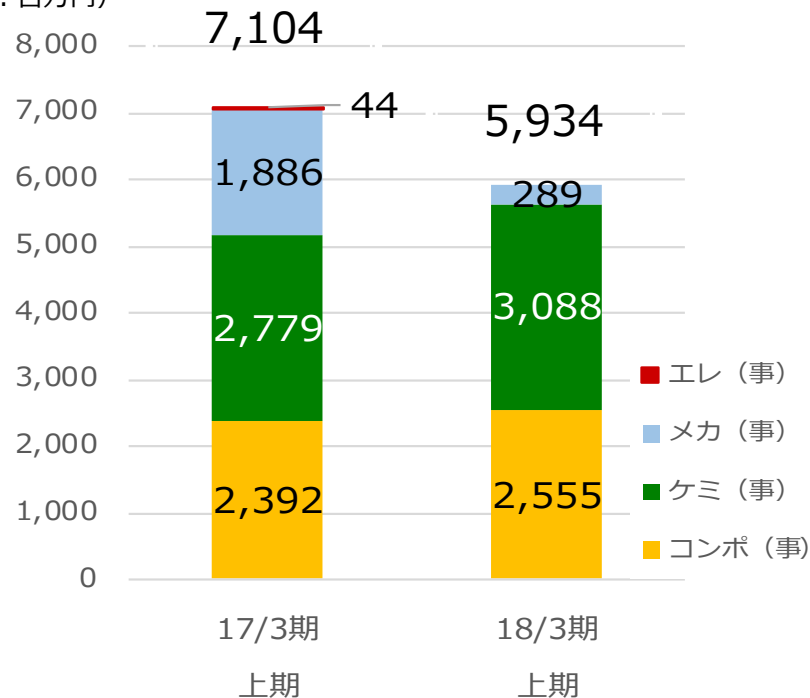


- エレ（事）：無線基地局用電源が全国的に伸長したこと等により増収増益
- メカ（事）：MDBが大幅減したこと等により減収減益
- ケミ（事）：主力の自動車関連分野を中心に堅調に推移し増収増益
- コンポ（事）：車載部品関係が堅調に推移し事務機器関連も大幅に伸長し増収増益

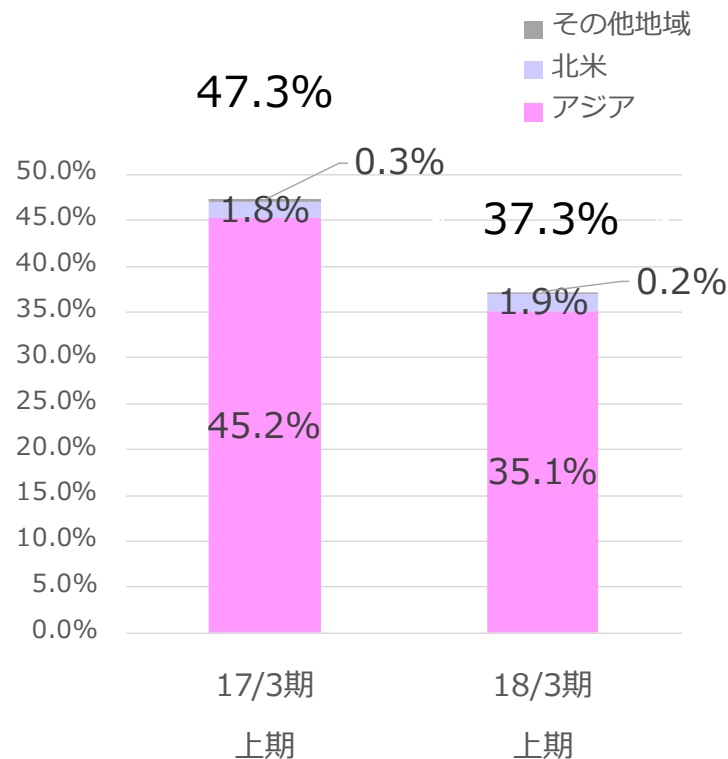
海外顧客向け連結売上高（セグメント別・地域別）

セグメント別

(単位：百万円)



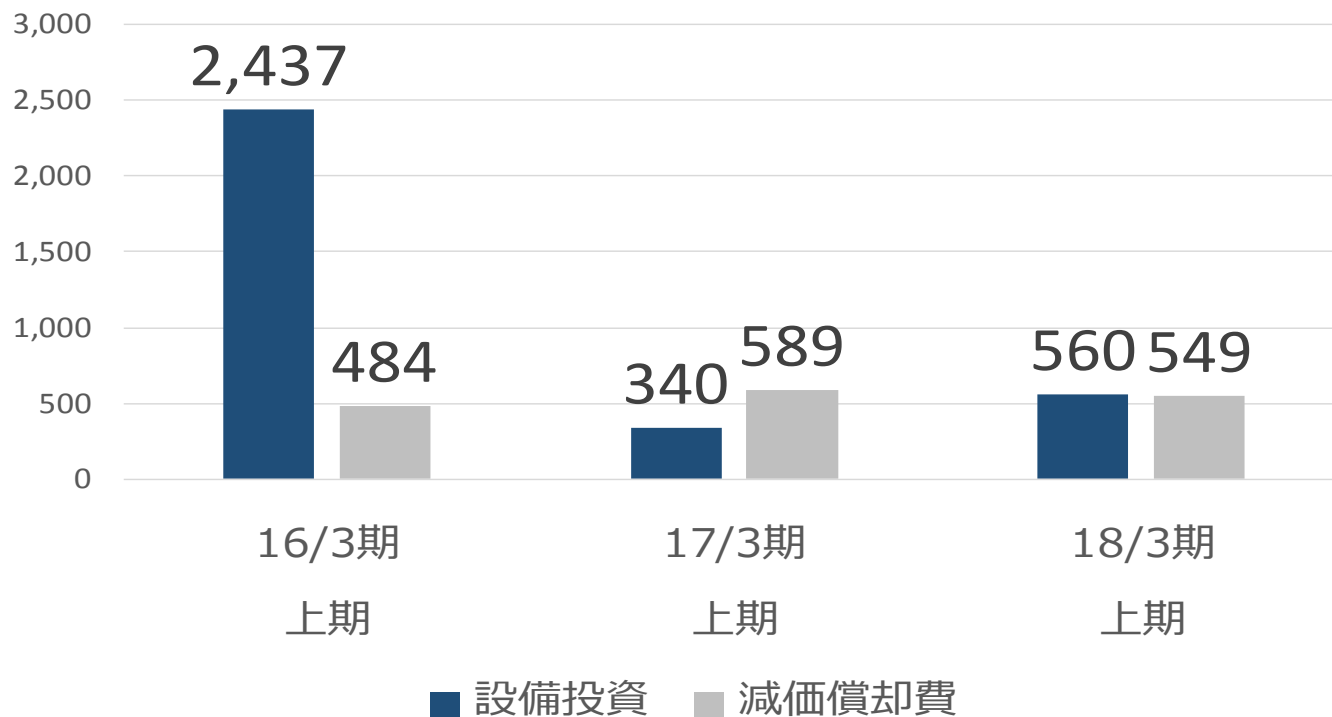
地域別



➤ メカトロニクス事業のM D B売上が落ち込み、海外顧客向け売上高大幅減少

設備投資、減価償却費

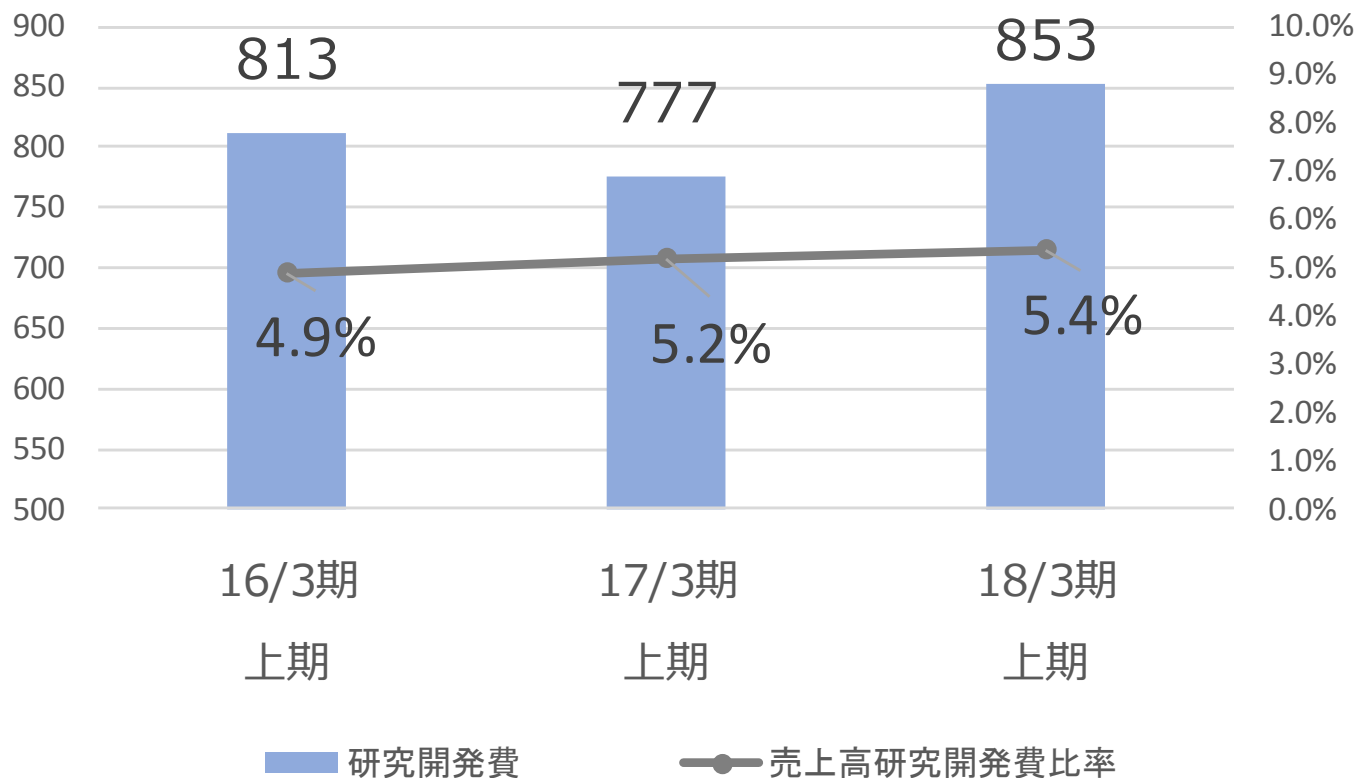
(単位：百万円)



- 16/3期 上期の設備投資の主な要因
 - ・ 本社移転に伴う新棟建設投資
- 18/3期 上期の設備投資の主な増加要因
 - ・ 連結子会社東邦化研工業(株)の本社移転に伴う新棟建設投資
 - ・ コンポーネント事業の製造装置増強投資

研究開発費、売上高研究開発費比率

(単位：百万円)



- 18/3期 上期 研究開発費の主な増加要因
コンポーネント事業における事務機器関連の新用途開発

連結貸借対照表

(単位：百万円)

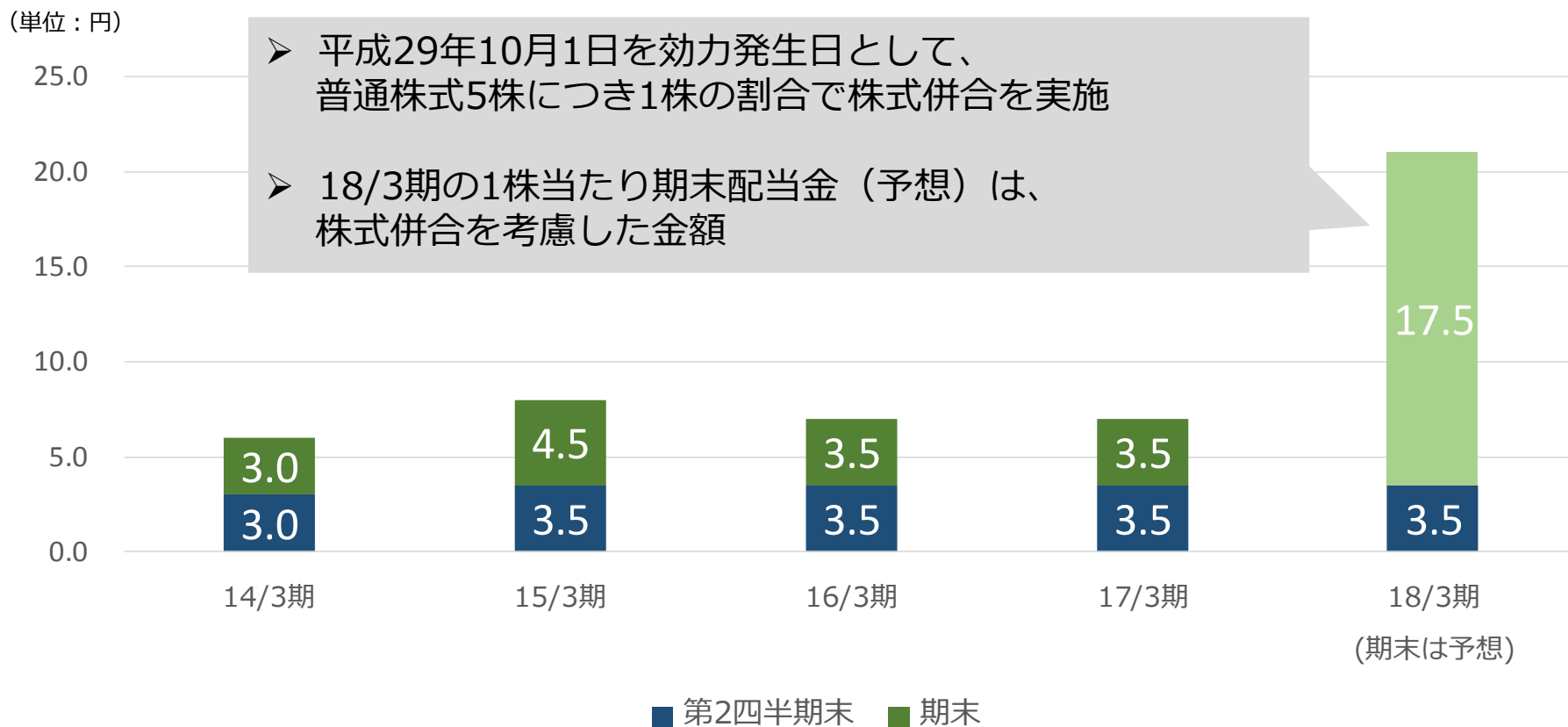
	17/3期 期末	18/3期 上期末	前期末 増減額
流動資産合計	25,427	24,622	▲ 805
固定資産合計	16,830	17,669	839
資産合計	42,258	42,291	33
流動負債合計	13,496	13,635	139
固定負債合計	5,069	4,669	▲ 400
負債合計	18,565	18,304	▲ 261
純資産合計	23,692	23,987	295
負債純資産合計	42,258	42,291	33
自己資本比率	50.2%	51.0%	0.8%

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	17/3期 上期	18/3期 上期	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 84	576	661
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1	▲ 824	▲ 822
財務活動によるキャッシュ・フロー	38	▲ 478	▲ 516
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 609	▲ 744	▲ 134
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,424	4,834	▲ 590

配当の状況



連結業績予想

(単位：百万円)

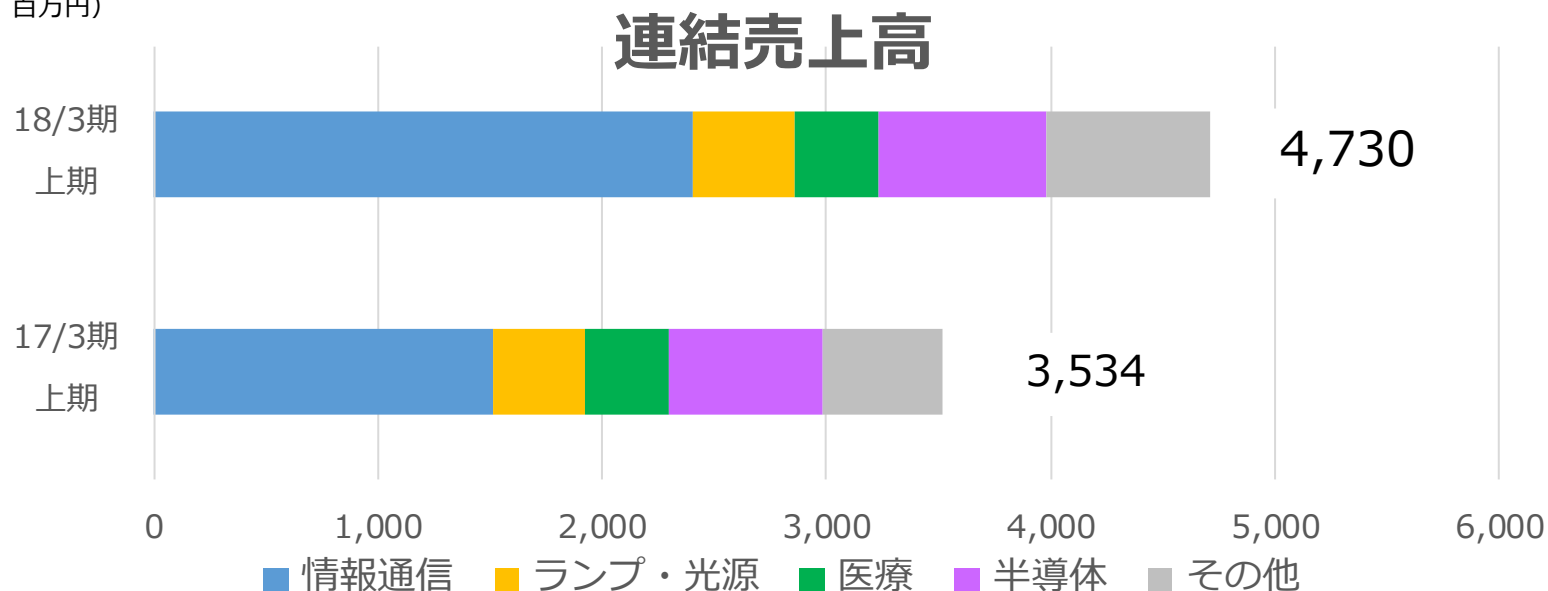
	17/3期 実績	18/3期 予想	前期 増減率
売上高	31,301	32,500	3.8%
営業利益	930	1,000	7.5%
経常利益	1,180	1,000	▲ 15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 1,376	350	—

※連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合あり。

MEMO

エレクトロニクス事業 連結業績詳細

(単位：百万円)



18/3期 上期売上概況

- 移動通信用基地局電源の増産
- 液晶パネル製造装置用高圧電源の増産

18/3期 上期トピックス

- ピークカット用蓄電システムの実証実験

18/3期 下期重点施策

- 通信用電源等のコストダウン取組み
- 船舶バラスト水殺菌用UV電源の販売
- スマートエネルギー関連製品の市場開拓

主力販売製品

製品名：整流装置（DC48V45A）屋外仕様

特長

- ポールマウントを考慮した小型電源（電力密度：従来比約3倍）
- 外装は耐重塩害塗装仕様・放熱は屋外熱交換器を使用
- 安全で環境負荷の少ないニッケル水素電池を使用
- 停電時バックアップ時間は約20分（増設可能）
- 蓄電池寿命予測機能・蓄電池切離し機能

用途

- 移動通信基地局用整流装置
- サーバー・ルータ
- 直流48V入力の負荷装置



主力販売製品

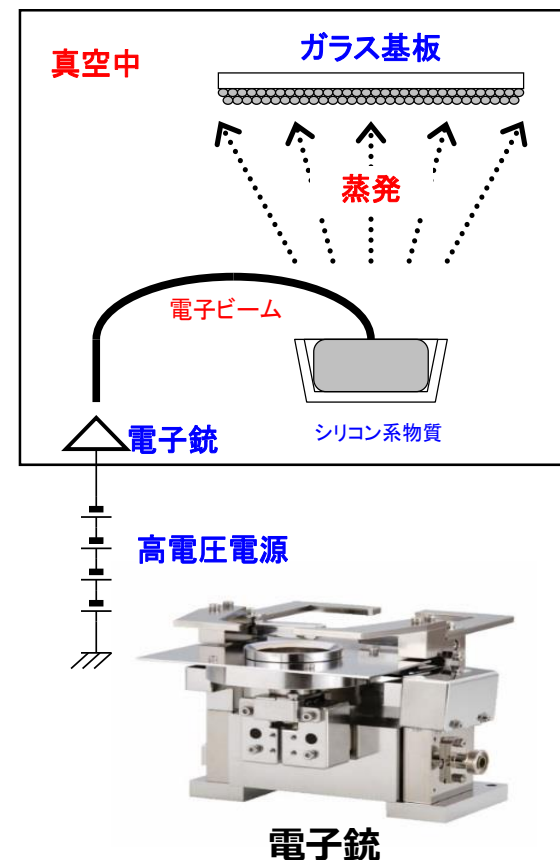
製品名：電子ビーム蒸着システム(電子銃＋高電圧電源)

特長

- シリコン系物質を電子ビームで溶かし込みガラス基板に成膜する装置に採用
- 高電圧電源＋電子銃を付加価値として安定生産に寄与

用途

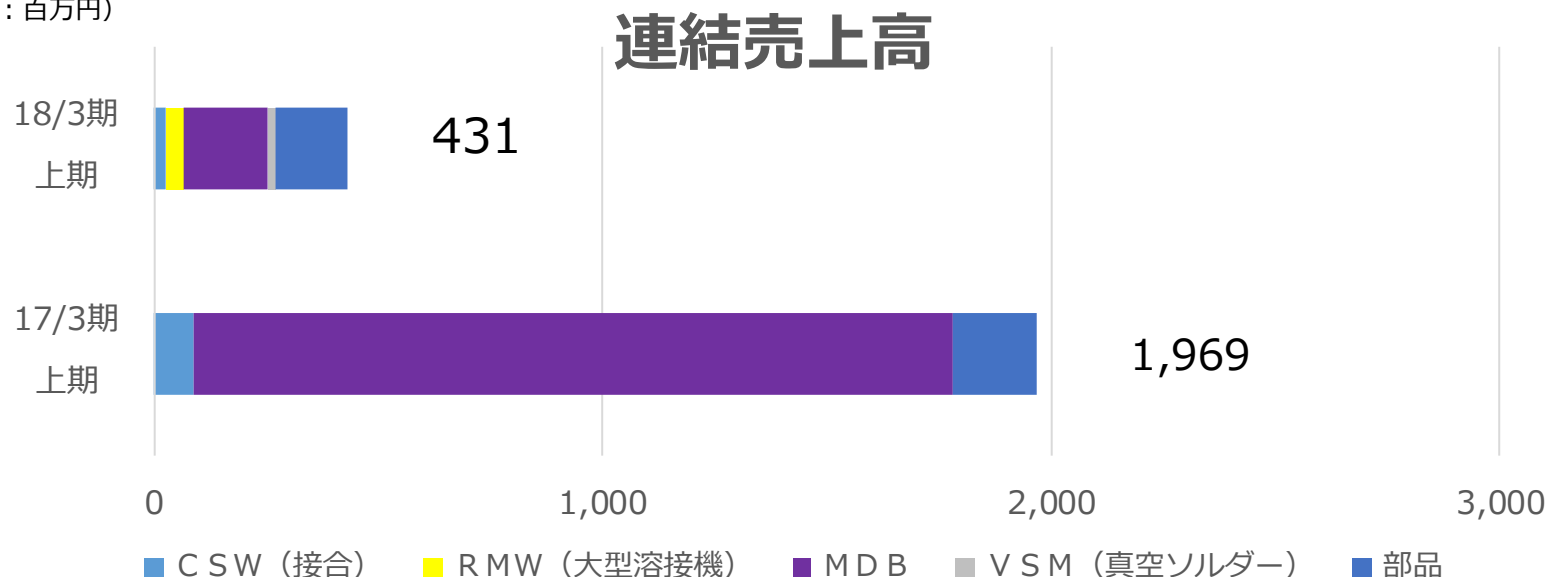
- 情報端末機器用の液晶ガラス防汚膜用製造装置
- レンズ反射防止膜用製造装置



MEMO

メカトロニクス事業 連結業績詳細

(単位：百万円)



18/3期 上期売上概況

- MDBは大型案件及び中国販売進まず
- CSWは市場の縮小及び価格競争により販売進まず
- 改良版VSMは当初計画に対し市場投入の遅れが影響

18/3期 下期重点施策

- MDB受注活動、DB^{*1}(車載)市場開拓
- RMWはリングマッシュ工法浸透により自動車市場拡大
- VSMはPD^{*2}/LED市場開拓、海外市場展開

*1 新製品

*2 パワーデバイス

新製品情報

製品名：車載向けディスプレイ貼り合せ装置（DB）

特長

- 低コストの精密常圧貼り合せ
- 6.5～17.7"のパネルサイズに対応
- 電圧印加法によるバブルフリーボンディング
- シール剤、ダム剤塗布に対応

用途

- 車載及び産業用ディスプレイの貼り合せ



型式：LC1C0

D B (Display Bonder) の用途

モバイルフォン(MDB)から車載用途(DB) への展開



車載用途から産業用途へ市場拡大



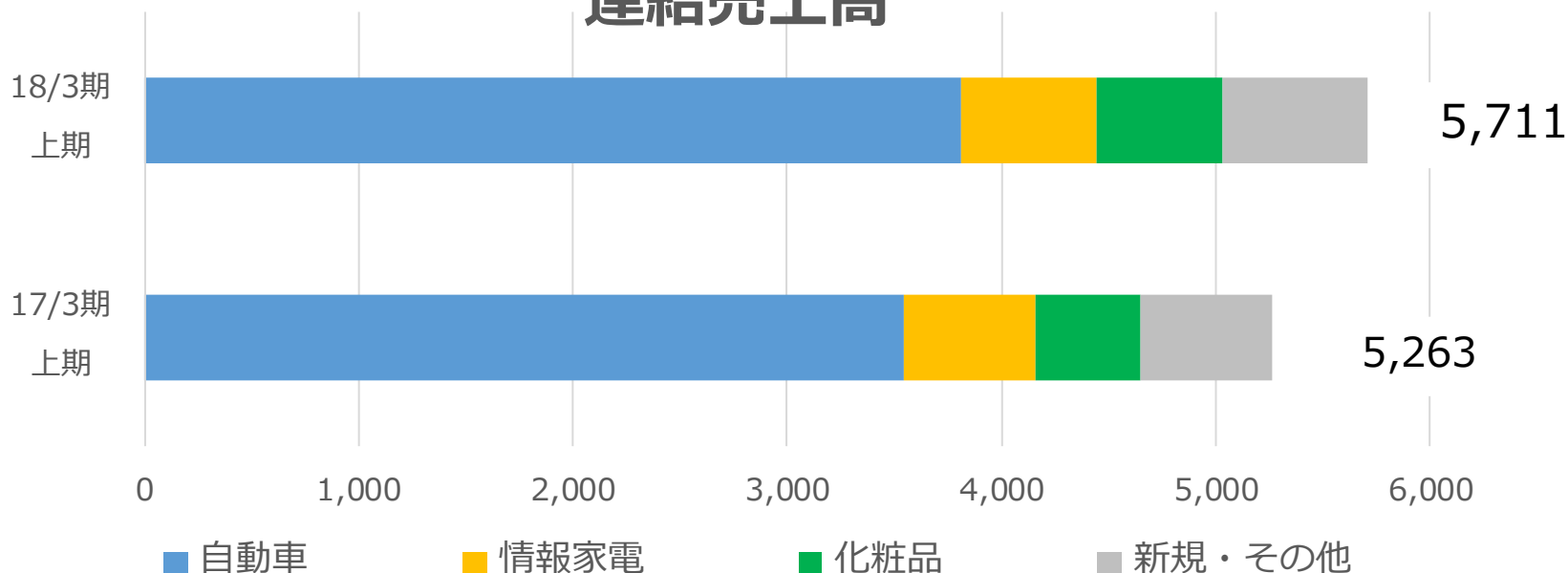
etc.
21

MEMO

ケミトロニクス事業 連結業績詳細

(単位：百万円)

連結売上高



18/3期 上期売上概況

- 自動車関連分野堅調
- 中国拠点の伸張

18/3期 上期トピックス

- 新製品塗料の開発（潤滑性塗料等）
- P P Gメキシコとの技術供与契約締結

18/3期 下期重点施策

- 機能性塗料の開発（放熱、潤滑、超親水）
- 新市場の開拓（住設・フィルム等）
- 国内市場の深耕（広島県等販売網強化）
- 東邦化研工業(株)新工場の稼動
(ケミ事業部とのコラボ強化)

主力製品採用事例 ハイブリッド車

高光沢・耐傷性
センタークラスター：
NS-3 加+NS-2 クラ

高輝度
レジスター：Iネット EY
SS (2ジョ仕様)

メータークラスター：
Iネット VZ-2

シフトパネル：
Iネット ET SS



PIXTA



PIXTA

ホイール：
プラネットPZ-3

※写真は製品のイメージです

新製品情報①

製品名：オリジンルーバーY

特長

潤滑性一般溶剤型熱硬化塗料

- **【潤滑性能】** 低い動摩擦係数を有する塗膜を形成
- **【耐久性能】** 潤滑剤の選定により良好な潤滑性を維持
- **【使用環境対応】** 樹脂系の選定により、様々な素材、使用環境への対応が可能

用途

- 光学機器（カメラ、顕微鏡部品等）
- 自動車内燃機関周辺部品
- 医療機器

使用例

オイル、グリースによる汚染を嫌う部品



高温、高圧条件でオイル、グリースの使用できない部品



新製品情報②

製品名：デュオネットCU

特長

光反応+熱反応環境配慮型デュアルキュア塗料

- 熱硬化型2液材料とUV硬化型材料の長所を持ち合わせる
- **【梱包性能】** UV硬化により、強靱な塗膜が瞬間的に形成される為、即日梱包が可能
- **【着色性能】** 熱硬化の要素を有している為、従来のUV塗料では困難だった着色化が可能

用途

- 自動車内装部品（スイッチパネル、グローブボックス、シフトパネル、センターパネル）
- その他医療機器関係、光学関係など

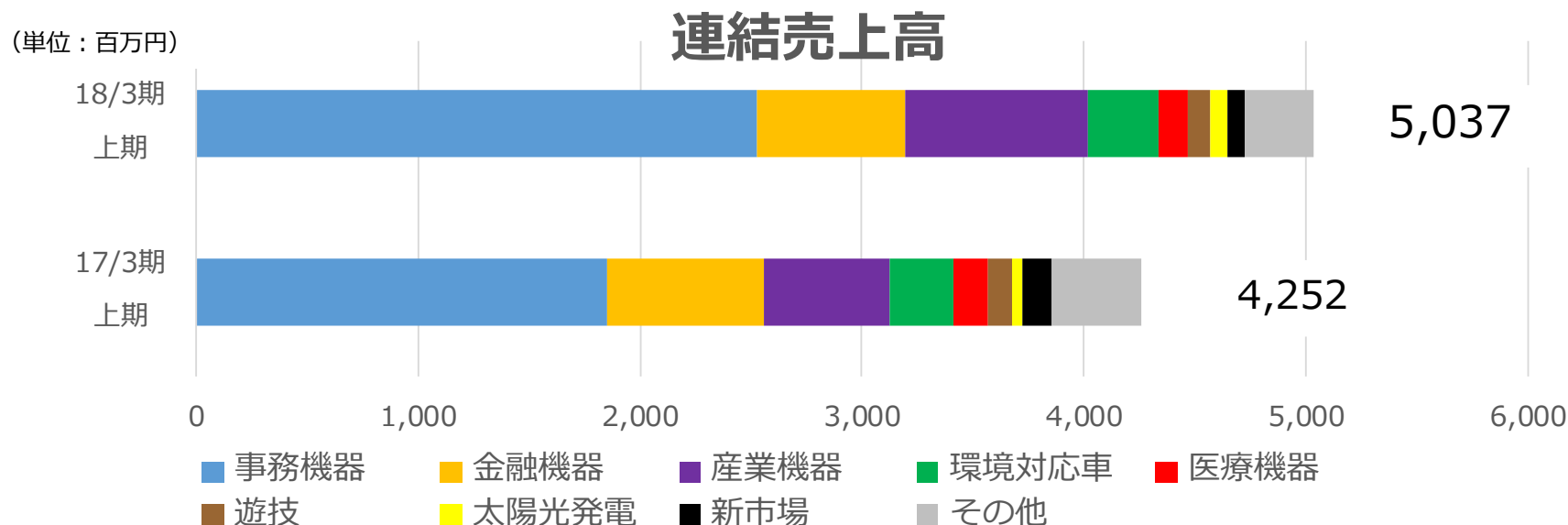
使用例



※写真は製品のイメージです

PIXTA

コンポーネント事業 連結業績詳細



18/3期 上期売上概況

➤ 売上高5,037百万円

- ・事務機器：新用途に新製品投入した成果
- ・産業機器：好調な半導体製造装置に支えられる
⇒両分野で「特定製品の大量生産」の要請に対応
- ・金融機器：減少傾向に歯止め掛かる

18/3期 上期トピックス

➤ グローバル展開

- ・「CHINA + 1」⇒顧客の「ASEANシフト」本格化
- ・欧利生（香港）有限公司（オリジン香港）設立

18/3期 下期重点施策

➤ 特定製品の大量生産体制の確立

及び大量生産に係る納期遵守体制の確保

- ・部品、加工部材の安定確保
- ・生産拠点の効率的活用
- ・生産・検査工程の自動化推進
- ・品質管理体制の強化

➤ グローバル展開の加速化

- ・上期設立のオリジン香港の活用と香港を起点としたASEAN拠点設立検討
- ・半導体製品海外医療機器メーカーへの拡販

新製品情報①

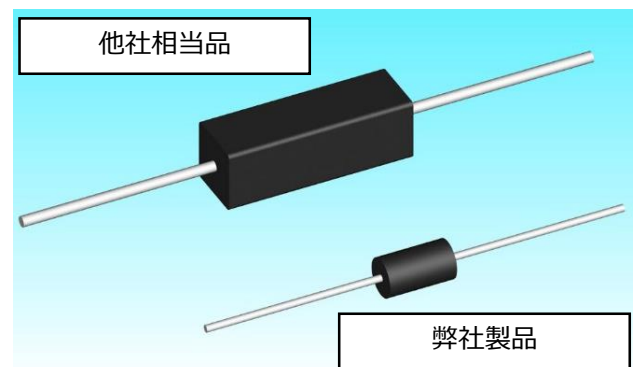
製品名：MD8CR5（高圧整流ダイオード）

特長

- 他社メーカーと比較し小型化、高放熱
（他社体積比88%減）
- 高周波・高速スイッチング化(200kHz)
- 高耐圧：VRM=8kV
- 大電流：Io=500mA

用途

- 医療用・デンタル用X線装置
- 工業用X線、電子線照射装置
- 電子顕微鏡、電子加速器、電気集塵機



使用例



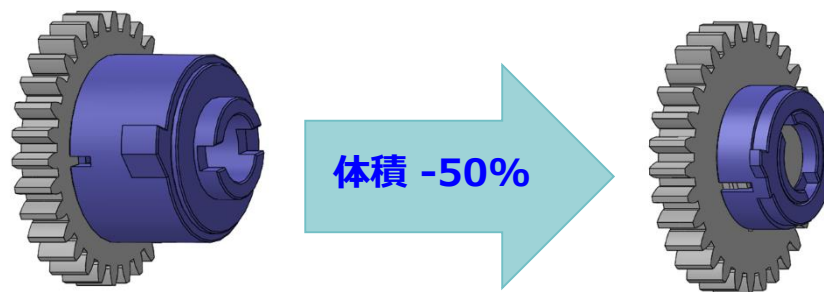
株式会社日立製作所殿

新製品情報②

製品名：スプリングクラッチ

特長

- 小型（他社比50%減）
- 伝達トルク大
- 高速回転（空転時）



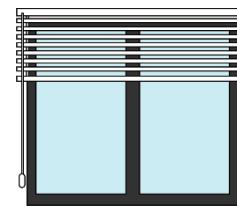
用途

- OA機器（コピー機、プリンタ）
- ATM・自動発券機
- 住宅設備（ブラインド・室内物干し）

使用例



プリンタ



ブラインド

- ◇当資料はオリジン電気株式会社が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。
- ◇当資料に掲載しております情報は、2018年3月期第2四半期連結決算の経営成績や財務内容等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる保証を行うものではありません。
- ◇業績予想等は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在していますので、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる場合があります。
- ◇当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

————— プレス・アナリスト・機関投資家様 個別取材窓口 —————

オリジン電気株式会社

経営企画部

TEL:048-755-9422